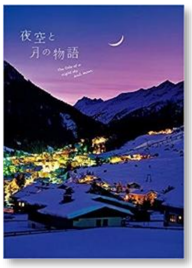
ティーンズとしょかん

坂出市立大橋記念図書館
坂出市寿町一丁目３番10号
電話　45-6677

2018年　12月　2019年　1月号
通巻　25号

特集「夜空にときめく本」

底冷えする寒さが続くこの季節。夜空を見上げれば，そこには幻想的な満天の星空が広がっています。
今回は星や月，星座など夜空に関する本の特集です。
月や星などがキーワードとなる物語，夜空の写真集，プラネタリウムや星座観察の本，夜空の写真の撮り方についての本などを集めています。物語の星空にグッと惹きこまれるものから，ぼんやりと眺めて楽しめるもの，実際に天体観測へ繰り出そう！と思えるものなど，本によって楽しみ方も様々。ページをめくるたび心がときめくような，本の中で展開される魅力的な夜空の世界をお楽しみください！



『夜空と月の物語』　パイインターナショナル　446/ハイ

「いつの時代も，人は同じ月をみていた。」夜空と月にまつわる物語に美しい夜空の写真を添えた写真集。詩的な言葉，幻想的な風景があなたの心をじんわりと温める。世界に伝わる夜空のエピソードをあなたに…。

『星の事典』　柳谷紀一郎/著　雷鳥社　443/ヤナ

星や星座の成り立ちに特化した事典。イラストや写真で分かりやすく解説をし，夜空に浮かぶ星々の魅力や伝説なども記載。読み終わった後，実際に夜空を見上げたくなるような１冊。

『君と星の話をしよう』　相川真/著　集英社　F/アイ

「君の顔にはオリオンがいるんですね。」顔の傷が原因で周囲と馴染めずに高校を中退した直哉は，天文館を営む蒼史に意外な言葉をかけられる。蒼史の星の知識に触れるにつれ，悩みを抱える直哉の心は徐々に変化していくが…。

☆『星に願いを，月に祈りを』　中村航/著　小学館　F/ナカ
★『十六夜荘ノート』　古内一絵/著　ポプラ社　F/フル
☆『星降プラネタリウム』　美奈川護/著　KADOKAWA　F/ミナ
★『あの日ブルームーンに。』　宮下奈緒/著　ポプラ社　JF/ミヤ

職場体験生による「ミニビブリオバトル」の開催！

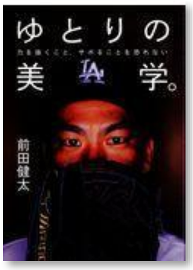
図書館では年間多数の中学校，高校から職場体験生を受け入れています。その体験の中で今年度からおすすめの本の魅力をプレゼンする書評合戦「ミニビブリオバトル」の活動を始めました。

この活動の流れは，自分のおすすめの本を１冊選び，参加者と紹介しあい，その中から一番読みたくなった本に投票しチャンプ本を決めるというもの。参加者からは「授業でやったことがあったけれど，また出来て嬉しい。」「緊張したけれど，自分の好きな本の話が出来て楽しかった。」「他の人の発表を聞いて読んでみたいなと思った。」などの感想があがりました。本の魅力を伝える楽しさや，人の発表を聞いて新たな本と出合えるわくわく感などを体験してもらい，読書の幅をひろげるきっかけになる活動になりました。

中高生が選んだおすすめ本

『羊と鋼の森』
宮下奈都/著　文芸春秋　F/ミヤ

学校で偶然見たピアノの調律のシーンがきっかけで外村は調律の世界に心惹かれる。調律師育成学校を経て調律師となった青年の成長を温かな文体で描く。映画化もされた話題作。



『ゆとりの美学』　前田健太/著
幻冬舎　783/マエ

ゆとりとは余裕を持つこと。100%の力でなく80%の力で余白を残すことが人生により良い効果を生む。メジャーリーグで活躍する前田健太の勝利へのメソッドを大公開！

『ビブリア古書堂の事件手帖』
三上延/著　アスキー・メディアワークス
F/ミカ

本を読めない訳ありな主人公と古書店の店主栞子さんが本にまつわる謎に迫っていく人気シリーズ。ブックガイドのような楽しみ方もできる１冊。

『レ・ミゼラブル』
ヴィクトル・ユゴー/著　講談社
J/F/ユコ

善意によりパンを盗み投獄された主人公。社会に対して憎悪を抱いていた彼を救ったのは，心優しい司祭の善意だった。博愛について触れる名作。

新しい本の紹介

『奏のフォルテ』　黒川裕子/著　講談社　F/クロ

１４歳の優れたホルン奏者の奏は，音楽を介さなければ，ろくにコミュニケーションも取れない。特に女子の気持ちなんてフォルテのニュアンスを読み取るぐらい難しいと感じている。そんな彼が敬愛するソリストから音楽への愛を完全否定されてしまい…。「愛」とは何か？思春期の少年が愛を探す青春の物語。

★『アンネ・フランクに会いに行く』　谷口長世/著　岩波書店　J209/タニ
☆『三日間の幸福』　三秋縋/著　KADOKAWA　F/ミア
★『ローズさん』　澤井美穂/著　フレーベル館　JF/サワ
☆『南西の風やや強く』　吉野万理子/著　あすなろ書房　JF/ヨシ